



やぐもだい

令和6年11月29日
調布市立八雲台小学校
校長 上田 義孝
<http://www.chofu-schools.jp/yagumodai-sho/>

「心」

校長 上田 義孝

学習発表会のご参観ありがとうございました。子どもたちが一生懸命頑張って発表している様子や、丹精込めて作り上げた作品をご覧いただけたことと思います。担任や学年・専科で決めた発表のテーマに向かって、短い日程の中で、日々練習・創作を重ねてきました。お子さまの発表や展示に成長の姿を感じていただければ幸いです。

年の瀬を迎え、新たな新年を迎える前に、今年1年の自らの学習や行動を振り返るとともに、新たに良い1年を過ごすために、どのようにしていけばよいのか、考えてみました。

やはり、子どもも大人も自分が自分であるからこそ、「心」を大切にすることが、一番大切だと考えます。もちろん健康という土台に立った上ではありますが、具体的にどんな心があるのかを考えてみました。ぜひお子さんとともに、お読みください。

■「ありがとう」の感謝の心

まずは、私から。今年もありがとうございました。児童のみなさん、保護者の皆様、地域の皆様のおかげで八雲台小学校が年の瀬を迎えられること、お礼申し上げます。

さて、世の中で、一番幸せな人は、感謝の気持ちをもっている人だと思います。「ありがとう」の気持ちをもてば、人は優しくなれます。「ありがとう」と言われたら、人は幸せな気持ちになれます。「ありがとう」という感謝の気持ちは、自分の心も温かくしてくれる魔法の言葉です。

■「すみません」という反省の心

まずは、私から。本校でも、行き届かないことがあったかと思います。「すみません」。いつも皆さんに助けていただいたり、ご理解いただいたり、ご協力いただいたりして、八雲台小学校が学び舎として前進しています。お詫びしますとともに、お礼申し上げます。

ところで、私たちはみんな失敗することがあります。やってはいけないことをしてしまうことがあるかもしれません。友達や先生、ご家族の方に迷惑をかけてしまうこともあります。そのような時には、「すみません」と謝ることが大切です。反省の心が大切です。素直に反省している人を見ると、許してあげる気持ちになります。その人が、次には失敗しないように手伝ってあげようと思う気持ちにもなります。反省する気持ちの入った「すみません」は、やり直しや、新たな手立てを考える出発点です。

■「はい」という素直な心

「はい」という返事には気持ちが入ります。「よし、頑張ろう」という時の「はい」と、嫌々ながらやろうとする時の「はい」は聞いていても分かることでしょう。名前を呼ばれた時の返事や何かを頼まれた時の返事も「はい」です。「はい」という返事に素直な心が入ると、いろいろなことが上手にできることが多いです。なぜなら素直に頑張ってみようとする人には、見えない力が味方をしてくれるからです。素直な心の入った「はい」の返事は自分を高めてくれるとも言われています。

最後に、令和6年もお世話になりました。改めてお礼申し上げます。日々子どもの健やかな成長と学びを願い、教職員一同励んでまいりました。次年も「チーム八雲台」として、教職員一同力を合わせ、一人一人の子どもの学びのために邁進していく所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。皆様、どうぞよいお年をおむかえください。